

会話四：論理的思考と表現

九十七年度第一学期授業計画書

星友康

論理的思考と表現

- **情報の取り出し**
見た、聞いた情報を正確に認識する。
- **解釈**
情報の内容を理解したり推論したりする。
- **熟考・評価**
自分の知識、考え方、経験に基づき判断する。
- **表現**
自らの判断を出来る限り正確に他人に伝える。

2008/6/24

2

本カリキュラムの目標

- 何が事実なのかということの判断が自然と出来るようにする。
- 事実に対して絶対的な判断を下すのではなく、相対的な価値判断を行い、物事の多面性を理解できるようにする。
- 自分の考えを正確に他人に伝えられるようにする。

2008/6/24

3

授業の進行方法

- 教師より与えられた課題に対して、各チーム(1チーム3名)ごとに以下の作業を行い、チームごとに発表をした後に、クラスで討論を行う。
 - 情報の取り出し(ポイントの抽出)
 - 事実の判断
 - 批評(問題点の提出)
 - 疑問点の提出

2008/6/24

4

授業の進行方法

- 第一学期は母国語の論理構成に重点を置き、中国語4割、日本語6割程度の割合で授業を行う。
- はじめの数週間は、情報を正確に理解することを学び、その後、順を追って日本語による表現、討論まで発展させてゆく。
- 第二学期には日本語で簡単なディベートを行える程度の思考と表現能力をもてるようにする。

2008/6/24

5

評価方法

授業中の表現 30%

提出物 15%

中間テスト 25%

期末テスト 30%

2008/6/24

6

第一学期の宿題

- 外国語で論理的思考を行うためには母国語による確固とした論理体系が存在しすることが大前提であるため、毎週の宿題で母国語で①ものを考え、②考えをまとめ、③考えを表現する訓練を行う。

2008/6/24

7

第一学期の中間・期末テスト

- チームごとに30分程度の面接を行い、事前に決めておいたテーマに関する簡単な討論・話し合いをすることで、評価を行う。
- 面接は他チーム立会いのもとで行われ、他チームメンバーも意見を述べる事が出来る。それらの意見も評価対象となる。

2008/6/24

8

第二学期の宿題、中間・期末テスト

- 第二学期は、出来る限り日本語を使用するようにする。
- 宿題、中間・期末テストの方法は、第一学期末に、みんなで相談して決定する。

2008/6/24

9